

パトリステイカ

教父研究

巻頭言	桑原 直己	2
【論文】		
神的エネルギーの経験と信		
—ロゴス・キリストを信じるとは、いかなることか—	谷 隆一郎	6
390年代におけるアウグスティヌスにとってのパウロ		
—『告白録』の骨格形成に寄せて—	出村 和彦	25
救済された理性		
—サン・ヴィクトール学派の聖書神学と観想論—	中村 秀樹	43
アウグスティヌス『三位一体論』における実体の相互内在の問題		
—中世哲学の視点から—	横田 蔵人	67
【研究ノート】		
アウグスティヌス『音楽論』第六巻における魂の鍛錬	北川 恵	85
擬ディオニュシオスのキリスト論		
—「神人的な働き」 θεανδρική ἐνέργεια を巡って—	袴田 渉	107
神の光を見ることをめぐって		
—グレゴリオス・パラマスの擬ディオニュシオス理解—	袴田 玲	128
教父研究会活動報告		152
編集後記		153
『パトリステイカ』既刊号目次		(1)